

特集：組合士の声 会員インタビュー

このコーナーでは、組合士資格を日常業務に活用される会員の皆様に、組合士制度、組合士会についてインタビューをさせていただきました。

組合運営の自信に繋がる

事務局：組合士を取得したきっかけは何ですか？

本田さん：先輩から強く勧められたことです。先輩も組合士を持っており、何年もの間、強く勧められました。そんな中、自分も責任ある立場になり、組合を引っ張っていくためにも組合士の資格が必要だと意識が変わっていきました。

事務局：組合士会の思い出を教えてください。

本田さん：他県の組合士と交流を深めることが出来るブロック研修会や全国研修会に参加できたことは良い思い出です。これまで何回も参加させていただき、開催地のディープな所まで見れたことも楽しかったですね。

毎回参加されている他県の組合士の方や初めて参加される方達と話をすると、組合士としての熱い想いが伝わってきます。

組合法への理解が深まった

事務局：組合士を取得して良かったことは？

本田さん：理事会で理事から質問を受けたときに、きちんと答えられるようになりました。私の組合には現在3名の組合士がいますので、組合士を知っている方には「さすが郡山トラックセンター」と言われます。実務面では、組合士取得前は総会資料や議事録などは、前からある資料を焼き直して作っていたのですが、そこには決められたルールがあると知ることが出来ました。もう一つは受験勉強をしている中で、組合の設立や定款、運営、制度など、ふだんの業務では触れない分野を勉強出来たことです。それによって、組合運営の中で起こる様々な問題にもしっかりと対応できるようになりました。



認定番号：33029 取得年：2007年

郡山トラックセンター事業協同組合

専務理事 本田 宏 さん

事務局：組合士の魅力について教えてください。

本田さん：自分に自信が持てることです。災害等への対策を取っていく中で、「組合にとってこれは絶対必要なんだ、組合員のためにこれをしなければならぬ」と方法を見つけやすくなるとともに、その方針に自信を持てるようになります。

もう一つ大事な事は、同じ資格を持つ者同士の連帯感、仲間意識、そしてライバル感だと思います。やっぱり負けたくないですからね(笑)

事務局：最後に次世代へのメッセージをお願いします。

本田さん：1人で考えることはとても大事ですが、仲間（組合士、中央会、商工中金）がたくさんいますので、何か行動する際には、仲間の意見を聞いて参考にされることをお勧めします。

皆さんが悩んでいる事は、すでに誰かが悩んだ事です。そんな仲間達に意見を聞いて参考にされることは、とても簡単で有意義な事ですのでお勧めします。

業務に活かせる資格

事務局：組合士取得のきっかけは何ですか？

鈴木さん：福島県中小企業団体中央会より紹介があり、信用組合業務においても必要な実務的知識を習得できると考え資格取得を目指しました。なお、当時の上司が経理畑出身で「この資格は仕事の役に立つ」と考えており、そうした上司の薦めも大きかったですね。

事務局：組合士会の思い出は何かありますか？

鈴木さん：磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」で行われたブロック会議は面白かったですよ。現職の白木会長や本田副会長とも当時年齢が近かったせいか有意義な意見交換が出来ました。業務で組合員（企業）と話す機会は多いのですが、他の組合（事務局）と話す機会は金融機関でなかなかありません。組合を通して業界の情報など“生の声”が聴けたのは貴重な機会でしたね。

事務局：組合士を取得して良かったことはありますか？

鈴木さん：協同組合の基本理念を学ぶことで組合のあり方について考えるきっかけになりました。例えば銀行は全国どこでも営業活動を行うことができますが、信用組合は営業エリアが限られています。この営業エリアの人口が減少すれば中小企業も減少（若しくは事業規模縮小）し、信用組合の事業規模も縮小するという共存共栄の関係です。

昨今では景気変動やコロナ禍により経済的弱者（個人や中小企業）が増えましたが、そうした弱者が互いに協力して事業に取り組むことが今求められており、それは協同組合の基本理念と一致します。ですが協同組合が制定された当時のあり方に回帰するのではなく、時代のニーズに合わせて組合も変わっていかなくちゃならないと思います。



認定番号：38022 取得年：2012年

いわき信用組合 事業支援部

副部長 鈴木 達也 さん

いわき信用組合ではコロナ禍で打撃を受けた個人や中小企業の事業再構築支援に取り組んでいます。それにより経営改善に繋がり、結果的に円滑な債権回収に繋がります。私が在籍する事業支援部は、外部専門家や外部機関との連携推進、創業支援などを積極的に行っていますが、以前とは組合（金融機関）のあり方が変わってきていますね。今後は益々信用組合の役割が大きくなっていくのではないかと考えています。

事務局：次世代（受験者等）へのメッセージをお願いします。

鈴木さん：改めて自分が勤務する「協同組合」の存在や意義を知る貴重な機会になると思います。資格取得は自分自身の業務に対するモチベーションアップとなるのと同時に、周りの職員に対して好影響を与えることができ、総じて職場内の意識・意欲の向上に繋がると思います。何より組合士を受験し合格するまでが大変充実感がありました。特に上席の方も一緒に勉強し、受験されることをお奨めします。勉強のポイントは、参考テキストの熟読及び過去問題の反復演習あるのみですね。

東日本大震災を契機に...

事務局：受験のきっかけは何ですか？

齋藤さん：東日本大震災ですね。発生当時、事務局長が出張で不在だったんですが、組合員からたくさんの問い合わせがあり、対応していく中「組合員のための組合」という言葉が頭をよぎりました。局長に頼りすぎるのではなく、こういう時こそ、一職員として迅速に対応し、解決しなければならない！と身をもって感じました。そのためには、組合士の知識が必要だと思ったんです。

事務局：実際に取得されてどうですか？

齋藤さん：自分の自信につながりました。ただ言われたことをやるのと、知識があって理解してやるのとでは全然違いますよね。実務では、総会資料の作成や組合員の加入・脱退手続きなど、試験で学んだことを活かしながら自信をもって対応できるようになりました。今年「組合士としてできること」、「組合士だからできること」を目標に、組合の役に立てる組合士として努めていきたいです。

取得＝ゴールではない

事務局：いつ頃から勉強されましたか？

齋藤さん：試験の年の5月には、もう勉強を始めていました。勉強したことを日々の実務と照らし合わせながら身につけていくのが、一番の近道だったかなと。あとはとにかく過去問を解きまくる。論文なんかはボイスレコーダーに自分の声を録音して、お散歩しながら聴いたりもしましたね。組合士になってからも、休日に時間を計って過去問を解いたりしてます。やらないと忘れちゃうので。過去問を収集したファイルもあります。ここまできると趣味ですね(笑)



認定番号：45032 取得年：2019年

福島卸商団地協同組合

総務課長 齋藤 登代子 さん

事務局全体のスキルアップを

事務局：組合では後輩の皆さんも多く受験されていますね。

齋藤さん：職員自身のため、組合員のため、やってみようと思いを勧めました。今は私を含め、4名が試験に合格しています。

事務局：それだけ必要な資格だということですね。

齋藤さん：そうですね。経験年数や年齢関係なく、組合職員なら組合員から聞かれたことには答えられるようにしておかなければならないと思っています。後輩の皆さんもそれを理解した上で、試験に挑戦してくれたようで嬉しいです。

事務局：これから組合士を目指す方にアドバイスをお願いします。

齋藤さん：自然災害が多発している今、リスク管理や素早い初動対応がますます重要になっています。今後の組合運営には、今よりももっと組合士が必要とされるようになると思います。組合士取得が組合職員であることの第一歩と言えるほど組合で仕事をする上で必要な資格だとも思います。ぜひ多くの皆さんに受験していただきたいです。

特集：組合士の声 会員インタビュー

組合組織への理解

事務局：どうして組合士を取得しようと思
いましたか？

高橋さん：私が在籍している商工中金では組合からの融資を始めとした各種相談を受け付けており、社内でも組合士取得が奨励されています。私自身、担当させていただいている組合があったこと、先輩方で取得されている方が多く、試験を受けてみようと思いました。試験勉強では「制度」や「運営」で普段なじみがない内容も多く苦戦しましたが、中央会開催の勉強会の参加や過去問を繰り返し解いて理解を深めました。

事務局：組合士を取得して良かったと思うことはありますか？

高橋さん：試験勉強において、会計や財務の知識が身についたことは金融機関の業務でプラスになっています。組合制度や運営の内容についても、民間企業と組合の組織体制の違いを勉強する機会になり、組合事務局の方とお話をする中でとても役に立っています。

交流を深めていきたい

事務局：これまでで思い出に残っている事がありますか？

高橋さん：組合士を取得したばかりで、まだ組合士会の行事に参加したことかがないので、今後機会があればぜひ参加して各業界の方からお話をお聞きできればと思います。組合士会の活動についてもぜひ教えてください。



認定番号：47020 取得年：2021年

株式会社商工組合中央金庫福島支店

営業第二課 高橋 一真 さん

組合を知るきっかけに

事務局：次世代の皆様へメッセージをお願いします！

高橋さん：組合士会40周年おめでとうございます。組合は幅広い業種の中小企業者にメリットのある組織ですが、知らない方もまだまだ多く、「組合士」の普及をきっかけに組合組織の周知につながればと思います。商工中金の業務において組合知識は必須ですが、私も入社するまで詳しく知りませんでした。組合を知るきっかけとして組合士受験してみてもはいかがでしょうか。

商工組合中央金庫について（紹介）

商工中金（商工組合中央金庫）は、政府と中小企業の組合が共同出資し設立された金融機関です。中小企業による中小企業のための金融機関として、事業活動を総合的にサポートしますので、お困りのことがございましたら、いつでもご相談お待ちしております！

正しい知識の習得

事務局：どうして組合士を取得しようと思いましたか？

長谷川さん：何十年前になるかな（笑）当時中央会に勤めていたときは、周りもみんな取得していたし、自分も取得しないといけないなと感じていたから自然な流れだと思います。でも、仕事をするうえで必要な資格であることは自覚していたし、正しい知識を身につけるきっかけにもなるので、組合にも受験を案内していました。

今に役立つ経験

事務局：組合士を取得して良かったと思うことはありますか？

長谷川さん：ひととおり組合の基礎を学べたことは良かったと思います。支援の範囲を把握でき、実務に活かすことが出来ました。今の仕事でもその時の経験は役に立っています。

事務局：役に立っているというのと、現在も組合支援のようなお仕事でしょうか。

長谷川さん：中央会を3年前に定年退職後、中小企業診断士事務所として開業し、また、よろず支援拠点、商工会議所で、経営改善、創業、補助金等の経営相談にあたっている。中央会での経験で、様々な業界の情報や課題をたくさん知ることができたので、今もいろいろな企業の支援ができています。

組合士は経営の基礎を学び、自己啓発のきっかけにもなります。組合士に加え、50歳でようやく合格した中小企業診断士の資格と、中央会でのキャリアが、現在の仕事のベースを構築したのになっています。

事務局：これまでで思い出に残っている事がありますか？

長谷川さん：ブロック会議は面白かったですね。他県の人との交流もそうですが、磐梯熱海に泊まったのもよく覚えています。各地区の特色とか悩みとか話あって、お酒もすすんだものです。また機会があったら行きたいですね。



認定番号：10022 取得年：1984年

はせがわ中小企業診断士事務所 代表

福島県よろず支援拠点 コーディネーター

福島商工会議所

専門指導センター 嘱託専門指導員

長谷川 久也 さん

次世代の皆さんへ

事務局：最後にメッセージをお願いします。

長谷川さん：まずは組合士会40周年おめでとうございます。40年前に中央会に入社した頃は、そろばんも使っていた時代でした。この40年で世の中は激変し、これからも予想が難しいくらいに変化していくものと思います。知識と経験を積み上げ、熱意とネットワークがあれば、世の中の変化に対応して、何とか生きていくことができたと思っています。組合士は、その第一歩となるもので、また、組合士会に入ることによっていろいろな業界の人との交流があるので、その点でも魅力があります。ぜひ、組合士会への入会を待ってます！